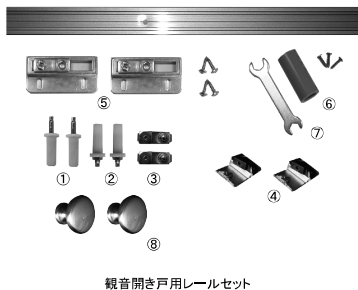


○ 各部材名称

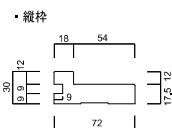
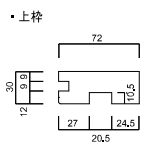
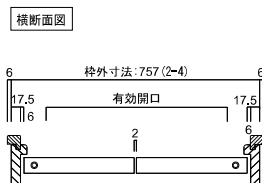
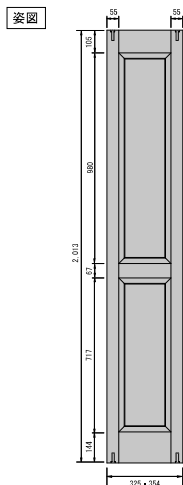


セット名	梱包内容	数量
枠セット	縦枠	2本
	上枠	1本
	組み立て用ビス 30本	
額縁セット		縦用2本、横用1本
金物セット	レール	1本
	上部ピボット ①	2ヶ
	下部ピボット ②	2ヶ
	支持金具 ③	2ヶ
	マグネット受金具 ④	2ヶ
	ピボット軸受金具 ⑤	2ヶ
	打込み工具 ⑥	1ヶ
	スパナ ⑦	1ヶ
取手 ⑧	2ヶ	

# ～ 然ツガ ～ 観音開き戸施工説明書

施工前に必ずこの施工説明書をお読み下さい。

○ 姿図・納まり図



	本体寸法		枠外寸法		有効開口
	W	H	W	H	W
1~2"	710	2013	757	2071	600
入隅用 (325mm)	652		699		540

\* 入隅用のドアを使用の場合、上枠、レールをカットして使用下さい。

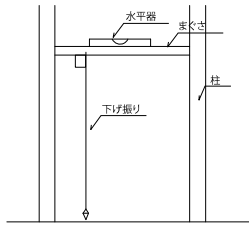
# 然ツガ観音開き戸施工説明書

この度は、然シリーズツガを採用いただきまして誠にありがとうございます。  
 ドアは、水平・垂直・ねじれ等により、完成時に支障をきたす恐れがございますので  
 施工前には必ずこの施工説明書をよくお読みいただき、ご理解の上、施工して下さい。

## ○施工手順

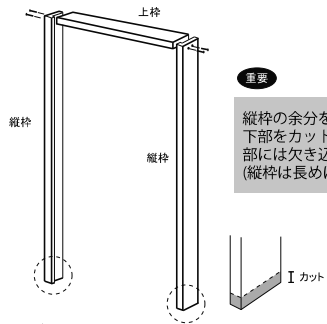
### ①開口部の調整

下げ振り・水平器で柱・まぐさの水平、垂直、ねじれなどがないか確認の上調整して下さい。



### ②枠の組立

- ・上枠と縦枠を同梱のビスで固定して下さい。  
 下穴処理をせず組立ての場合、枠が割れる可能性があります。
- ・入隅用ドア(325mm)を使用の場合、上枠のカットが必要となります。

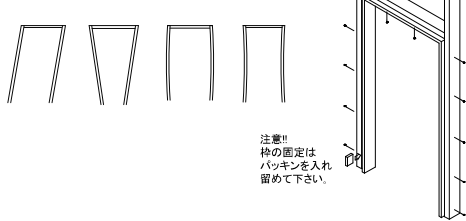


**重要**  
 縦枠の余分を切断する時は、必ず下部をカットして下さい。縦枠上部には欠き込みがあります。(縦枠は長めに設定されています)

### ③枠の取付

- ・柱及びまぐさとドア枠との隙間にパッキン材をかませ、垂直を確認します。そして、水平・ねじれの無いよう、枠内寸法が狂わないようにして付属ビスで固定して下さい。

\*建具が下図のようにならないように御注意下さい。

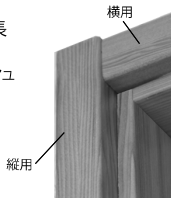


**注意!**  
 枠の固定はパッキンを入れ留めて下さい。

### ④額縁の取付

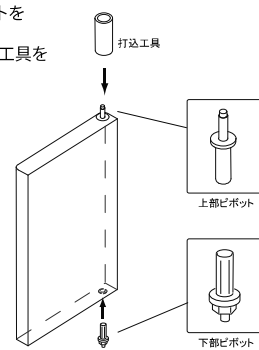
- ・額縁は納め【縦勝ち加工】により現場にて長さを調整しカットして下さい。
- ・カットしたものを接着剤もしくはフィニッシュネイルで固定して下さい。

\*額縁には縦用と横用があります。



### ⑤金物類の取付・吊込み

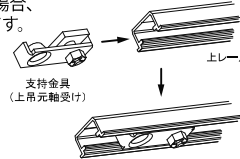
- 1) 上部ピボット、下部ピボットを扉本体に打込みます。  
 打込みの際は必ず打込み工具をご使用ください。



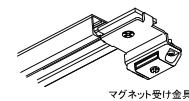
- 2) 支持金具をレールに挿入します。

- ・支持金具を上レールに挿入し六角ネジを軽く締め仮固定して下さい。
- ・入隅用ドア(325mm)を使用の場合、上レールのカットが必要となります。

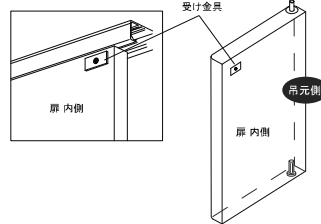
\*扉の吊り込み後に位置調整を行うための段階では完全に固定しないで下さい。



- \*上レールに支持金具に加えてマグネット受け金具を取付けます。

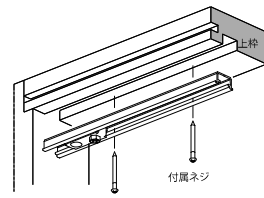


- \*マグネット受け金具の位置決定後、扉内側のマグネットを受ける位置に所定のビスにて受け板を固定して下さい。

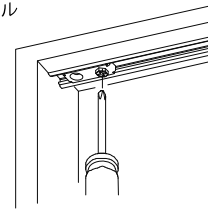


- 3) 上レールを固定します。

上レールを上枠掘込み部に付属のネジでしっかり固定して下さい。

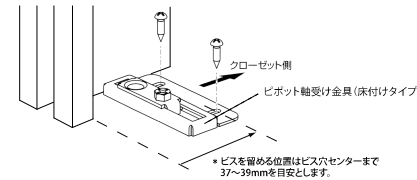


- 4) 支持金具(上吊元軸受け)を固定します。  
 上レールに挿入した紫綫金具をレール内の所定の位置に固定して下さい。  
 (付属の調整スパナかドライバーで六角小ネジを締め付け固定します)



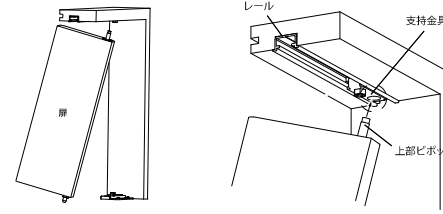
- 5) ピボット軸受け金具を固定します。

\*ピボット軸受け金具を下枠及び床面の所定の位置にビスでしっかり固定して下さい。

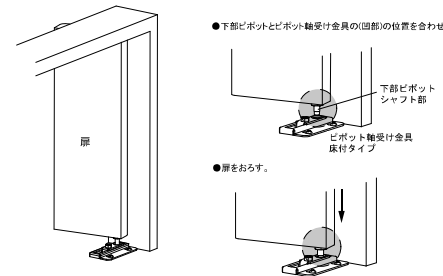


- 6) 扉を吊り込みます。

- ・扉の上側をレールに挿入します。  
 扉を傾け上部ピボット先端を支持金具凹部にセットして下さい。

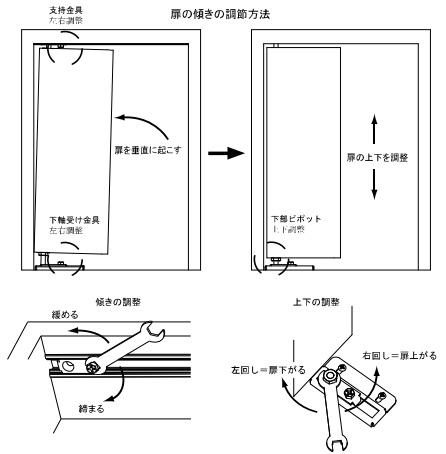


- ・下部ピボットを下軸受け金具に挿入します。  
 扉をまっすぐ起こし下部ピボット先端とピボット軸受け金具(凹部)の位置を合わせて下さい。合わせ終わったら下部ピボット先端(シャフト)がピボット軸受け金具(凹部)に収まるように扉をおろして下さい。  
 \*扉をしっかり支えながら作業を行って下さい。



- 7) 扉の吊り込み後、必要に応じて扉の傾き及び上下の隙間の調整を行って下さい。

- ・この時点で扉が傾いていたら垂直に調整して下さい。
- ・上下支持金具の六角ネジを付属の調整用スパナでゆるめ扉を垂直にした後、六角ネジを締め付け完全に固定して下さい。
- ・扉の上下の隙間を調整して下さい。
- ・下部ピボット六角ナット部を付属の調整用スパナで回し扉の上下位置を調整して下さい。
- \*扉をしっかり支えながら作業を行って下さい。



### ⑥施工終了後

- ・保護  
 当て、擦り傷等が付かないよう保護材などで必ずカバー、もしくは取り外し傷付かない場所に保管をお願いします。

- ・お手入れ方法  
 ドアが汚れている場合、雑巾に水を含ませ固く絞り、拭き取って下さい。
- ・酸性、アルカリ性の洗剤や溶剤(シンナーなど)は変色等の原因となりますので絶対にお止め下さい。
- ・建具の金具はやわらかい布で乾拭きを行って下さい。

#### ◎注意

- \*クローゼット内に棚板を設置する場合、縦枠から5mm程離して設置して下さい。開閉の際、扉が当たる可能性があります。

